

－ 日韓政策セミナー －

“年金改革-韓国と日本の公務員年金改革の比較”

下記のとおり、日韓政策セミナーを開催します。今回は韓国政府の人事革新処で公務員年金課長を歴任し、現在は英国 ブリストル大学で研修中の千芝潤氏をお招きし、韓国と日本の公務員年金改革についてお話をいただきます。日韓の比較からみた東アジア諸国の 公的年金 改革の現状がテーマです。

1990年代以降、先進国と後進国を問わず、急速な高齢化と少子化によって多くの国が財政的な困難を経験しました。それにより政府の債務が急増し、社会政策の領域で公務員年金改革が重要な課題として浮上りました。主題発表を行う千芝潤氏は韓国政府で10年余り公務員年金業務に従事した経験を踏まえ、2015年の公務員年金改革の原因、過程及びその結果を紹介し、また同じ時期に改革を実行した日本の公務員年金制度との比較を通じて、東アジア諸国の共通課題を提示します。

日時 2016年9月23日(金)午後4時20分～5時20分

場所 早稲田大学19号館(アジア太平洋研究科)315号室
(アクセス: <https://www.waseda.jp/gsaps/en/access/>)

講演 千芝潤(チョンジョン、韓国人事革新処・課長)



千芝潤氏は1998年に行政考試に合格し、韓国政府の公務員として17年間勤務しています。人事革新処公務員年金課長補佐(1999-2008)、大統領秘書室企画調整室行政官(2011-2013)など、主に年金や、政府の財政分野に従事した後、人事革新処年金課長(2013-2015)を歴任。公務員年金改革を担当し、具体的な年金改革案の提言、検討、利害関係にある団体との交渉や調整など、様々な業務に携わりました。現在、欧州の社会政策と公職人事管理の研究のため、韓国政府派遣プログラムにより、英国ブリストル大学政策大学院で研修中であります。

討論 金在脛(韓国公務員年金公団首席研究委員)、宋仁甫(韓国公務員年金公団前任研究委員)

司会 金建旻(早稲田大学 アジア太平洋研究科博士課程、韓国企画財政部事務官)

主催 早稲田大学アジア太平洋研究センター(WIAPS)、韓国・人事革新処

使用言語 韓国語(日韓通訳付き)

お問い合わせ 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科・李鍾元研究室
金建旻 (mosf2020@gmail.com)